

全日本教職員バドミントン選手権大会
総合優勝制度について

1. 総合優勝制度とは

現在、この大会は、団体戦5種目、個人戦24種目を擁する大規模な大会に成長しました。
ひとえに、会員の皆様が連綿として築き上げた成果です。

そして、総合優勝制度は、平成13年度に連盟創立40周年を記念して発足させました。連盟としては、今後も会員相互が連絡を取り合い、新人の発掘やかつて参加していた人の再登場を図っていただきますようお願いしています。そして、各都道府県が、チームとしての意識を持って参加・協力をしてほしいと願っています。そのため大会は、都道府県対抗を原則としています。そこで、より多くの都道府県が、より多くの種目に参加することを奨励するためにこの制度があります。一人でも多くの人が参加した県が有利になるように、また高い競技力を示した選手がおられる県が有利になるように設定してあります。ご理解のほどよろしく願いいたします。

2. 総合順位算出方法について

(1) 参加点

- ①団体戦: 参加チームに各3点
- ②個人戦: シングルスに1点、ダブルス1組に1点
※参加数は原則としてプログラムにエントリーされた者。
(参加費を支払っている場合、事情により変更しても認める)

(2) 勝ち抜き点 (試合が成立しなかった場合は加算しない)

①団体戦: 個人戦に該当する得点の3倍

エントリー数	1位	2位	3位	5～8位	9～16位
2～3	6				
4～7	12	6			
8～15	18	12	6		
16～31	24	18	12	6	
32～51	30	24	18	12	6

②個人戦: 各種目エントリー数並びに順位に対する得点

エントリー数	1位	2位	3位	5-8位	9-16位	17-32位	33-64位
2-3	2						
4-7	4	2					
8-15	6	4	2				
16-31	8	6	4	2			
32-63	10	8	6	4	2		
64-127	12	10	8	6	4	2	

3. 総合得点

都道府県別に、参加点及び勝ち抜き点を合計して、順位を決める。